

県の動き 3

令和4年度 沖縄県功労者表彰式

県は、11月3日、令和4年度沖縄県功労者表彰式を開催。式典には、関係者の皆様のご出席のもと、各部門で功績のあった受賞者の方々に玉城デニー知事から表彰状と功労章を贈呈しました。



【地方自治部門】 東門 美津子(とうもん みつこ) 79歳
衆議院議員及び沖縄市長を歴任し、女性の政治進出の先駆けになるとともに、沖縄県副知事として男女共同参画の実現や福祉・医療等の向上に尽力するなど、政治・行政の両分野から地方自治の進展と本県振興に貢献した。



【社会福祉部門】 宮里 時子(みやざと ときこ) 74歳
永年にわたり浦添市赤十字奉仕団委員長等として、地域のボランティア活動に尽力したほか、浦添市民生委員・児童委員等として、地域に密着した相談支援活動を推進するなど、本県の地域福祉の発展に貢献した。



【地方自治部門】 吉元 政矩(よしもと まさのり) 85歳
沖縄県副知事、政策調整監を歴任し、国際都市形成構想及び基地返還アクションプログラムの策定に尽力したほか、沖縄米軍基地問題協議会及び沖縄政策協議会の設置を実現させるなど、地方自治の進展と本県振興に貢献した。



【社会福祉部門】 知念 正勝(ちねん まさかつ) 88歳
永年にわたりハンセン病回復者の相談支援に尽力したほか、宮古退所者の会、沖縄ハンセン病回復者の会を設立し、全国退所者連絡協議会会長を務めるなど、偏見・差別の解消やハンセン病回復者の福祉増進に貢献した。



【教育部門】 宜保 好彦(ぎぼ よしひこ) 87歳
沖縄県教育委員会委員及び委員長として、学校教育、社会教育、青少年の健全育成、文化・スポーツの振興、国際化・情報化への対応など県の教育課題に対して、医療関係者の知見を活かし、本県教育の振興と発展に尽力した。



【産業振興部門】 玉那覇 有紀(たまなは ありのり) 86歳
復帰直後の黎明期から、数多くの公共・民間施設の設計監理業務に携わり、沖縄県建築士事務所協会会長、沖縄県建築士会会長等の要職を歴任し後進の育成に尽力するなど、本県の建築設計業界の発展に貢献した。



【文化・学術部門】 重田 照吉(しげた てるきち) 82歳
永年にわたりジャズ音楽演奏家として活躍するとともに、国内外での被災者支援チャリティーコンサートの開催や若手アーティストの指導育成に努めるなど、県内ジャズ音楽界の発展及び本県の文化振興に貢献した。



【観光振興部門】 平良 哲(たいら てつ) 86歳
沖縄観光コンベンションビューロー会長、那覇空港ビルディング代表取締役社長等の要職を歴任し、外国人観光客や修学旅行の誘致促進、観光従事者の資質向上に取り組むなど、本県の基幹産業である観光の振興に貢献した。



【文化・学術部門】 岩崎 セツ子(いわさき せつこ) 78歳
永年ピアニストとして国際的に活躍し、沖縄県立芸術大学での先進的なピアノ教育や人材育成、琉球交響楽団の運営に尽力したほか、沖縄フランス協会の設立等の功績により仏国政府勲章を受章されるなど、本県のクラシック音楽の普及と日仏交流に貢献した。



【農林水産部門】 謝花 美義(じゃはな みよし) 78歳
永年にわたりJAおきなわグループにおいて、伊江村でのとうがんと等の産地育成に尽力したほか、ファーマーズマーケットの開設による農産物直売事業や選果場等の農業施設整備を推進するなど、本県の農業振興に貢献した。



【文化・学術部門】 山本 あや子(やまもと あやこ) 87歳
琉球伝統料理の継承の想いから、自ら琉球料理店を開業するとともに、永年にわたり国内外における講演・出版活動、人材育成に尽力するなど、琉球伝統料理の文化の普及・発展に貢献した。



【地域振興部門】 内間 新三(うちま しんぞう) 95歳
久高島と本島間の定期船を運航する久高海運を設立し、永年にわたり島民生活に不可欠な海上交通機関の運営に尽力したほか、久高小中学校PTA会長を務めるなど、島民生活の安全・安心の確保と久高島の発展に貢献した。



【伝統芸能・工芸部門】 玉城 秀子(たまぐすく ひでこ) 80歳
永年にわたり琉球舞踊家として活躍するとともに、玉城流二代目家元として、国内外における公演活動、後継者の育成に尽力したほか、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者に認定されるなど、琉球舞踊の継承・発展に貢献した。



【平和・人権推進部門】 翁長 安子(おなが やすこ) 92歳
永年にわたり、自ら体験した沖縄戦の実相を多くの人々に伝える語り部の活動に尽力したほか、戦争体験者の減少・高齢化が進む中、ひめゆり平和祈念資料館の運営を支えるなど、平和の尊さの発信及び次世代への継承に貢献した。



【伝統芸能・工芸部門】 宮城 豊子(みやぎ とよこ) 83歳
永年にわたり琉球舞踊家として技芸を磨くとともに、宮城流豊舞会の家元として、観光・福祉事業との連携、後継者の育成に尽力したほか、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者に認定されるなど、琉球舞踊の継承・発展に貢献した。



【社会貢献部門】 金城 榮一(きんじょう えいいち) 81歳
旧軍飛行場用地問題の解決に向け、旧那覇飛行場用地問題解決地主会会長、沖縄県旧軍飛行場用地問題解決促進協議会会長を務め、県内各地で活動する団体を結集するなど、行政と協働して同問題の解決に尽力した。



【交流推進部門】 比嘉 孝(ひが たかし) 75歳
川崎沖縄県人会会長として、沖縄県出身者の支援に尽力したほか、川崎市と連携し、友好都市那覇市との交流事業や首里城再建募金活動を展開するなど、沖縄と川崎の交流推進に貢献した。



【社会貢献部門】 豊田 益市(とよだ ますいち) 73歳
永年にわたり県内に埋没する不発弾除去に尽力したほか、不発弾処理の加速化に向け、沖縄県磁気探査協会を設立し、資格制度の制定や磁気探査機器の精度向上を推進するなど、磁気探査業界の発展に貢献した。



【社会福祉部門】 玉城 善徳(たまき ぜんとく) 82歳
永年にわたり保育園の健全運営に尽力し、乳幼児保育の充実を図るとともに、就労と育児の両立を支援する特別保育事業や夜間保育事業を先駆的に実施するなど、本県の保育事業の発展に貢献した。



【一般篤行部門】 西原 篤一(にしはら とくいち) 77歳
永年にわたり沖縄刑務所篤志面接委員として受刑者の相談対応や矯正教育に尽力したほか、赤十字活動、社会福祉資金造成チャリティー公演の企画実施、青少年健全育成に携わるなど、本県の地域福祉の向上に貢献した。

問い合わせ

秘書課 電話:098-866-2080 FAX:098-860-1453

